

# さわんど温泉地区マスタープラン（素案）

# さわんど温泉における課題、価値、望ましい体験

## ■ さわんど温泉の地域資源と価値：マイカー規制の乗換・中継拠点、中部山岳国立公園南部地域のゲート機能

### ■ さわんど温泉の課題

#### ① 繁忙期の深刻な交通渋滞への対応

⇒道幅が狭くカーブも多い国道158号での大渋滞は、社会問題となっており、将来的には、道路や橋梁等のインフラ整備も含めたソフト・ハード両面の対応が求められる。  
⇒駐車台数分析により、超繁忙期の宿泊車両を第3駐車場から別の駐車場に誘導することで、当面渋滞低減の可能性がある。

#### ② 駐車場の利便性向上

⇒利用者のニーズや特性を踏まえ、駐車場の利用ルールの再整理やゾーニング、新たな機能の付加等が求められる。

#### ③ ゲート機能の強化、滞在時間の延長

⇒近年、上高地及び山岳地域への入山者数やインバウンド来訪者の急増により、利用ルールやマナーが守られていない事例が増加している。  
⇒交通の拠点という他に、沢渡ナショナルパークゲート（NPG）を中心とした情報発信拠点としての位置づけが重要である。

#### ④ 地域の魅力向上と他拠点との連携による通年利用の促進

⇒上高地に依存しない通年利用も期待される。  
⇒上高地等の冬季利用の高付加価値化、乗鞍高原、白骨温泉、平湯温泉との相乗効果によりさわんど温泉のゲート機能の強化に期待。

#### ⑤ さわんど温泉及び周辺拠点の魅力向上に資する社会基盤の整備

⇒上高地で働く人にとってもさわんど温泉は最寄りの集落であり、利用者・従業員双方の目線から、利便性向上や魅力向上が望まれる。

### ■ さわんど温泉における望ましい体験

#### よりスムーズな乗換により、快適な旅のスタートを切る

- ・駐車場の混雑状況を事前に把握し、混雑を避けて快適に利用できる。
- ・自分の利用スタイル（登山、散策、観光等）にあった機能・料金体系の駐車場を選ぶことで、快適かつ満足度の高い駐車場利用ができる。

#### フィールドへ出かける人、物、気持ちの準備を整える

- ・安全登山のための情報を得る、上高地の利用ルールやマナー情報を得る、旅のワクワク感を高めるなど、これからフィールドへ出かける人自身の準備を整える。
- ・食糧を調達する、登山用品を調達する、現金を準備する、荷物を発送する・預ける等、フィールドへ出かける際に必要な物の準備を整える。
- ・周辺のフィールドの天候や混雑状況などの情報を収集し、行程を検討する、ガイドを手配する、登山用品のレンタルをするなどの準備をする。

#### フィールドから帰ってきた人に、山歩き・旅の余韻に浸ってもらう

- ・フィールドから帰ってきた際に、沢渡ナショナルパークゲートの展示を見てフィールドで見てきたものを振り返る、次の目的地への出発・帰宅前に軽食をとる、お土産を買う、日帰り温泉を楽しむなど、山歩き・旅の余韻に浸る。

#### 中部山岳国立公園南部地域で快適・持続的に住まう・働く

- ・自然に近いところにありながら、快適な従業員寮、買い物や憩いの場などが揃った住みよい里としてのさわんど温泉を生活の拠点とし、国立公園内で働く従業員も自然の中で働く不便さや緊張感から解放され、のんびりとしたオフの時間を過ごす。

# ■ さわんど温泉が目指す姿と実現のためのコンセプト

## コンセプト

“ここで乗り換えなくてはならない”ではなく、“ここから出発したい・ここへ立ち寄りたい”と思える、  
世界水準の国立公園の玄関口

- ・ナショナルパークゲート（NPG）を通過して上高地へ入ること（もしくはバスでの情報提供）の徹底を図る。さわんど温泉地区で乗り換えることにメリットを感じられるような、より快適で便利な駐車場環境を整える。（**取組方針1**,**取組方針2**）
- ・中部山岳国立公園南部地域のゲートとして、上高地のみならず、中部山岳国立公園南部地域の各地区とのハブ機能を担うとともに、乗換 + aの滞在ができる環境を整える。（**取組方針3**）
- ・乗換拠点近くに泊まる・住まうことそのものを価値とした宿泊施設や飲食・物販施設等の社会基盤を整える。（**取組方針4**）



滞在環境としての魅力向上のための社会基盤整備

さわんどでの滞在をより充実させるためのサービス提供

NPGのゲート機能の強化

利用者別の誘導による駐車場の混雑緩和対策

# 別紙：さわんど温泉の目指す姿の実現に必要な取組（案）

（          内はサウンディングで特に提案を受けたい事項）

取組順	取組方針	取組（案）	具体的取組内容
進行中・短期的	別業務で進行中	BT・NPGでの最新情報の発信	・駐車場の空き状況をリアルタイムで発信できるwebページの作成
		渋滞・路駐対策 臨時駐車場の整備 誘導・案内看板の設置	・駐車場の混雑状況を知らせる電光掲示板、ライブカメラの設置 ・臨時駐車場の整備 ・高山市と松本市の各駐車場へのタイムラプス機能付きカメラの設置、北アルプス南部地域公式サイトでの映像配信 ・TwitterなどのSNSでの自動配信
取組方針1 利用者別の誘導による駐車場の混雑緩和対策		市営駐車場における駐車料金変動による利用調整（繁忙期における渋滞緩和）	【第1駐車場】 ・上高地宿泊者の利用を誘導する。 【第2駐車場】 ・特に繁忙期の宿泊者を第3駐車場から誘導し、第3駐車場だけでは収まらない日帰り利用者の受入を補完する。 【第3駐車場】 ・NPGに最も近く、利便性の高い第3駐車場に最も高額な駐車料金を設定。特に繁忙期は宿泊利用者を他の駐車場へ誘導し、日帰りの利用者主体の利用とする。 【第4駐車場】 ・グレンパークさわんどと連携し、登山者（宿泊者）に対して利便性の高い駐車場とする。
		①NPGのゲート機能と発信力の向上	・NPG及びバス内での上高地への入山前のルールレクチャーの徹底（普及啓発）（タクシーも含む）。 ・上高地へのバス起終点をNPGに集約 ・沢渡大橋から第3駐車場付近での「国立公園へ入る雰囲気」を作っていく等
		②グレンパークさわんどの活用例：登山者向けの拠点化	・より安全に配慮した山岳エリア入山に際しての追加の情報発信をグレンパークさわんどと市営第4駐車場で連携して実施 ・第4駐車場と連携したグレンパークさわんどの民間活用、簡易炊事場、靴洗い場等の提供
		③飲食サービスの充実	・上高地では導入しにくいコンビニエンスなサービス（キッチンカーや自動販売機、無人販売所等）の展開（ピアーズさわんど） ※子連れ観光客や上高地帰りの人への軽食・喫茶の提供など
		④民間駐車場での宿泊者専用駐車場の設置	・宿泊客専用予約駐車場（屋根付き駐車場）の設定（民間駐車場） ※アルピコ車庫前駐車場、茶嵐、第1駐車場周辺の民間駐車場 ・上高地の従業員駐車場の設定（民間駐車場）
取組方針2 NPGのゲート機能の強化		⑤RVパークの整備等車中泊利用者への対応	・RVパーク整備（第2駐車場横（臨時駐車場）等）
		①チェックイン・手荷物配送サービス	・専用車両あるいは路線バスの回送車両を活用した手荷物運搬サービスの導入
		②沢渡オリジナルグッズ販売	・日帰り客にも購入してもらえるようなグッズの開発 ・第3駐車場の横にある三社明神の活用 ※山のお守りや熊鈴の販売、神社に参拝して上高地へ向かう流れの創出
		③BTを基点としたツアーや体験の予約ができる仕組みづくり	・中部山岳国立公園南部地域全体の旅づくりと沢渡における受付機能の充実 ※NPGにアルプス山岳郷の窓口を設置し、ツアーや観光案内を実施 受付機能に加えて、レンタル業務、手荷物配送などの複数サービスの窓口もあわせて担うことを検討
取組方針3 さわんどの滞在をより充実させるためのサービス提供		④防寒具・登山用品などレンタル	・NPGにおける現地情報の発信とあわせてガイドツアーの紹介やレンタルサービスの提供
		取組方針4 滞在環境としての魅力向上のための社会基盤整備	・ステーションホテルの整備 ※イメージ：比較的安価に宿泊できる施設。1階にチェックインスペースの他、自販機や飲食施設（宿泊者以外も利用できるもの）。温泉がある。ステーションホテルにエレベーターを設置することで、NPGのバリアフリー化に寄与。無人チェックイン機能の導入、清掃ロボットの導入、ドミトリー形式とするなどの工夫により人件費をはじめとする経費削減を目指す。従業員寮としての活用も想定。
将来・長期的		①中期滞在できる施設設営	・コンビニエンスストアやスーパーなど、住もう人・働く人にとっても便利でにぎわいのあるまちへ ※将来のイメージとして「まちの活性化」、「持続可能なまち」を目指す
		②飲食店や物販施設等の整備によるまちの活性化	

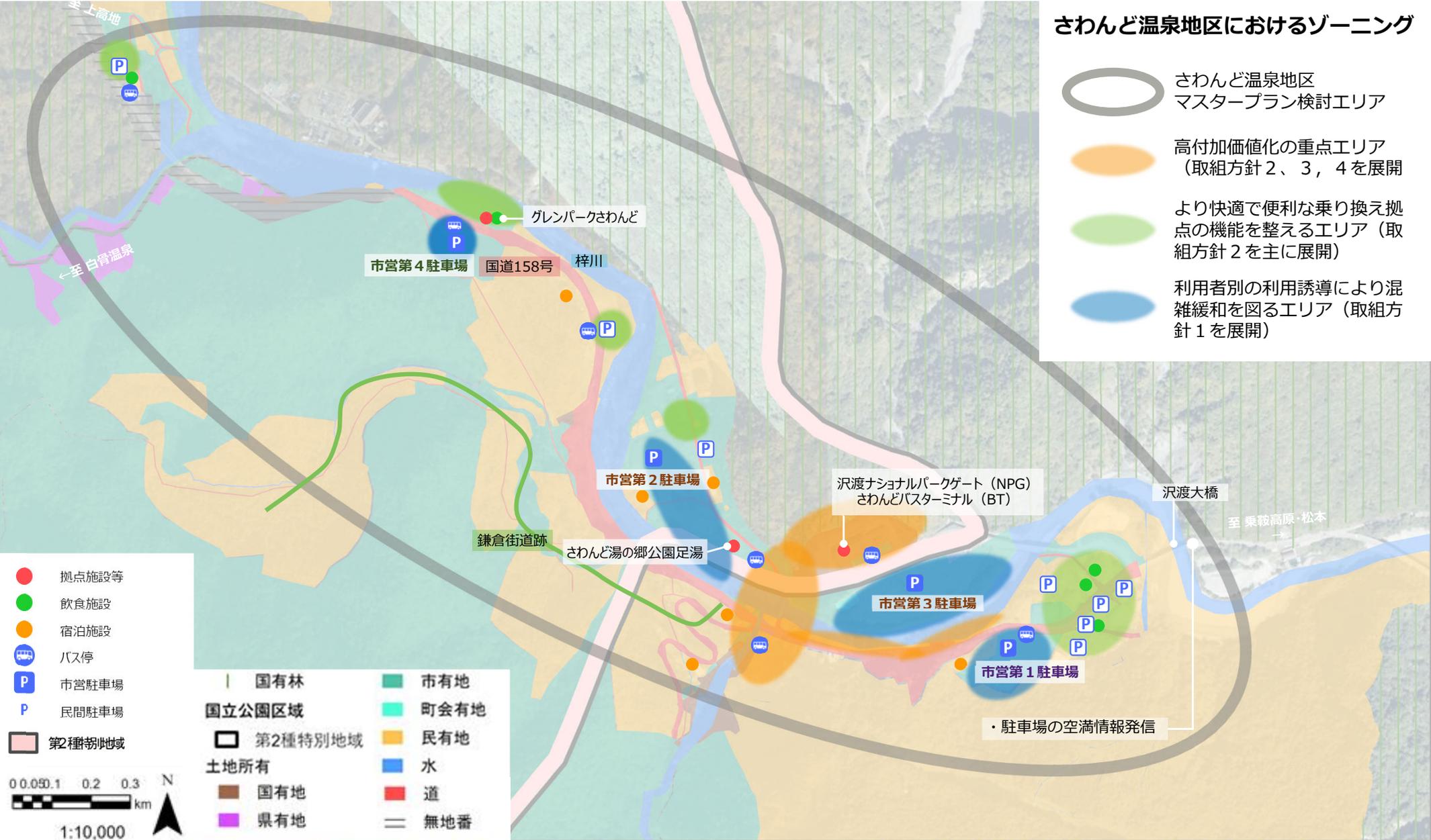
# さわんど温泉の価値・魅力を実感できる土地利用の方針

**コンセプト：“ここで乗り換えなくてはならない”ではなく、“ここから出発したい・ここへ立ち寄りたい”と思える、世界水準の国立公園の玄関口**

- ・段階的に進める予定の取組方針を踏まえ、高付加価値化を進める重点エリアをナショナルパークゲート（NPG）周辺のエリアとして設定する。このエリアは国立公園（第2種特別地域）との境界であることから、将来にわたって国立公園の環境を保全し、世界水準の国立公園の玄関口として必要な機能を配置する。
- ・158号線沿いに、点在する民間駐車場や市の施設等を中心として、より快適で便利な乗り換え拠点としての機能を整えるエリアとする。
- ・市営駐車場は利用者別の利便性の向上を目指して、駐車料金の変動による利用誘導によって、駐車場の混雑緩和を推進するエリアとする。

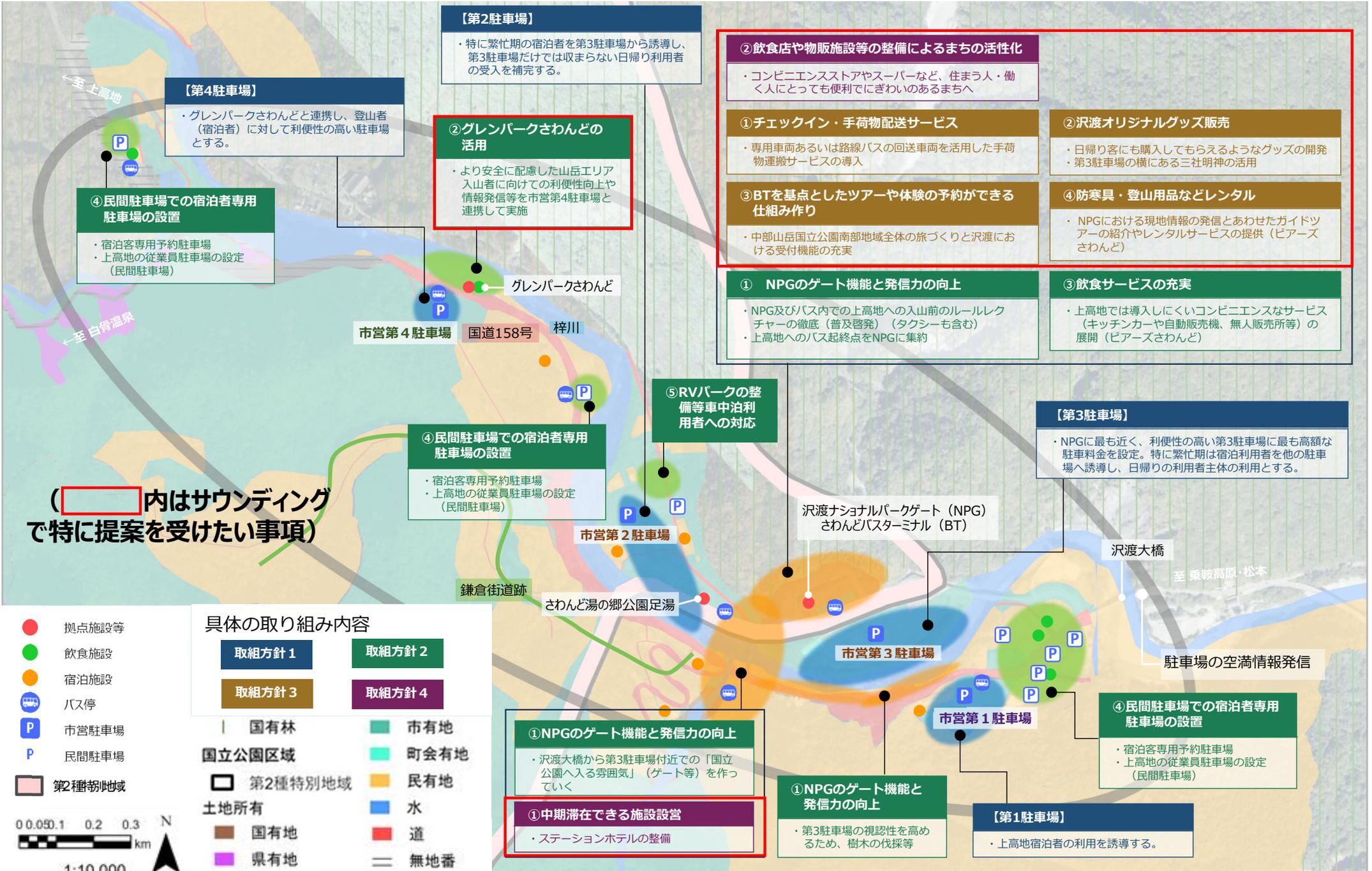
## さわんど温泉地区におけるゾーニング

-  さわんど温泉地区  
マスタープラン検討エリア
-  高付加価値化の重点エリア  
（取組方針 2、3、4 を展開）
-  より快適で便利な乗り換え拠点の機能を整えるエリア（取組方針 2 を主に展開）
-  利用者別の利用誘導により混雑緩和を図るエリア（取組方針 1 を展開）



# さわんど温泉の将来像（コンセプト） 実現のための事業と配置（案）

コンセプト：“ここで乗り換えなくてはならない”ではなく、“ここから出発したい・ここへ立ち寄りたい”と思える、世界水準の国立公園の玄関口



（    内はサウンディングで特に提案を受けたい事項）

**具体的取り組み内容**

<b>取組方針 1</b>	<b>取組方針 2</b>
<b>取組方針 3</b>	<b>取組方針 4</b>

国有林	市有地
国立公園区域	町会有地
第2種特別地域	民有地
土地所有	水
国有地	道
県有地	無地番

- 拠点施設等
- 飲食施設
- 宿泊施設
- バス停
- P 市営駐車場
- P 民間駐車場
- 第2種特別地域

0.0 0.1 0.2 0.3 km

1:10,000